

アーモンドアイ

48,847票



2020年 ジャパンカップ(GI)

史上最多、ターフの最強女王

ロードカナロアの初年度産駒アーモンドアイは2歳夏にデビュー。新馬戦は2着に敗れたが、伝説はその次走から始まった。未勝利戦、シンザン記念、そして桜花賞、オークス、秋華賞といずれも圧巻の末脚で制し、史上5頭目の牝馬三冠制覇。続くジャパンカップも2分20秒6という驚異的なJRAレコードで勝利し、文字通り世界を震撼させた。

4歳初戦のドバイターフも勝利したアーモンドアイは、安田記念はスタート直後のアクシデントもあり3着と久々の敗戦。天皇賞(秋)は巻き返して勝利したが、予定していた香港カップは熱発で直前に遠征を取りやめ、急遽、有馬記念に参戦する事態に。生涯唯一の大敗となる9着に終わった。

5歳となった2020年は、連覇を狙ったドバイターフが新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現地入り後に中止に。帰国後はヴィク

トリアマイルを圧勝。安田記念2着を挟み、天皇賞(秋)で史上2頭目の連覇を達成し、引退レースのジャパンカップを迎えることとなった。

ジャパンカップには他にもこの年に無敗の三冠馬となったコントレイル、同じく無敗の牝馬三冠馬デアリングタクトが参戦。史上初めて実現した3頭の三冠馬による対決が大きな話題を呼んでいた。

レースは、そんな期待を裏切らないものとなった。ハイペースで大逃げを打ったキセキが後続を引き離して直線に向く。2番手から迫るグローリーヴェイズ。ここへ好位からスパートしたアーモンドアイが一気に迫り、とらえて交わす。3歳の三冠馬2騎もこれに迫ろうとするが届かない。最後は激しい2着争いを1馬身 $\frac{1}{4}$ 差後方にしてアーモンドアイが先頭でゴール。2着はコントレイル、3着がデアリングタクト。三冠馬3頭が上位を独占する奇跡のようなレースを、完勝で制してみせた。

ジャパンカップ2勝は史上2頭目。ドバイターフを含めた芝GIはJRA史上最多の9勝。記録にも記憶にも残る走りでも有終の美を飾ったアーモンドアイは、引退後の2023年、顕彰馬に選出。平成と令和を跨いで活躍した歴史的名牝の蹄跡は、これからも語り継がれていく。

第40回 ジャパンカップ(GI)

2020年11月29日 東京競馬場 2400m(芝・左) 曇・良 15頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/差	人気	通過順位
1	アーモンドアイ	牝3	55	C.ルメール	国枝 栄	2:23.0	①	④⑤④④
2	コントレイル	牡3	55	福永 祐一	矢作 芳人	1 1/4	②	⑨⑨⑨⑨
3	デアリングタクト	牝3	53	松山 弘平	杉山 晴紀	クビ	③	⑦⑦⑦⑦

第38回 ジャパンカップ(GI)

2018年11月25日 東京競馬場 2400m(芝・左) 晴・良 14頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/差	人気	通過順位
1	アーモンドアイ	牝3	53	C.ルメール	国枝 栄	R2:20.6	①	③②②②
2	キセキ	牡4	57	川田 将雅	中竹 和也	1 3/4	④	①①①①
3	スワーヴリチャード	牡4	57	M.デムーロ	庄野 靖志	3 1/2	②	⑤⑤④④

アーモンドアイ *Almond Eye* 2015年3月10日生 牝 鹿毛

父:ロードカナロア 母:フサイチパンドラ 母の父:サンデーサイレンス
 生産:安平・ノーザンファーム 馬主:有限会社 シルクレーシング
 通算成績:15戦11勝(うち海外1戦1勝)

主な勝ち鞍

- 2020年 ジャパンカップ(GI)、天皇賞(秋)(GI)、ヴィクトリアマイル(GI)
- 2019年 天皇賞(秋)(GI)、ドバイターフ(G1)
- 2018年 ジャパンカップ(GI)、秋華賞(GI)、オークス(GI)、桜花賞(GI)、シンザン記念(GIII)

ジャパンカップ メモリアルヒーロー投票結果

1位アーモンドアイ(48,847票)、2位コントレイル(24,691票)、3位ディープリンパウト(16,449票)、4位スペシャルウィーク(12,540票)、5位ジェンティルドンナ(12,221票)